

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動をプログラムに取り入れていることやその日の様子に合わせて個々にあった支援が行われている。	保護者や保育園等と情報共有しながらその時にあった対応が行えるようしている。 また、日々の支援後に職員間で話し合い、共通理解したうえで個々にあった支援ができるよう努めている。	より専門的に支援できるよう研修等を受けながら職員間で情報共有を行い、全員が同じようにアプローチできる体制を整えていく。
2	保護者との情報共有のツールが充実している。	療育中の様子などを文章のみでなく写真が掲載できるようになっていることでより分かりやすく支援内容を伝えることができている。保護者からの連絡、相談等が時間を問わず入れられるようになっているため、仕事をしている保護者ともやり取りがしやすい。	HUGシステム以外の情報提供が少ないので、定期的にお便りなど配布できると良い。
3	放課後等デイサービスが併設している	行事等を合同で開催し、小学生との交流や年長児を中心に放デイの活動体験を行っている。 移行した際は情報提供がしやすく継続支援ができる。	現在、定員に達しているため移行が難しくなっているが、空きが出た際には優先的に受け入れてもらえるよう調整を図っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けのイベントや活動が実施できていない。	現状、子どもたちに向けた療育を考えることに力を注いでしまっていたため、家族参加等のプログラムがたてられていなかった。	新規の見学以外にも、日ごろの様子が見られるよう見学を受け入れられる体制を整えたり、保護者にも周知していく。 保護者同士の交流の機会が持てるようなイベント開催ができるよう話を進めてく。
2	他施設との交流が少ない。	同社の児発との交流が少なく、情報共有する機会があまり持っていない。	イベント以外でも合同での活動を検討したり、職員間で集まり活動や現在の様子など話し合う時間を作るようにする。
3	内部研修の実施、外部研修への参加があまりできていない。	日々ミーティングは行われているが、内部研修等への時間が取れていない。	外部研修の情報収集や職員への周知、日程調整などを積極的にやっていく。